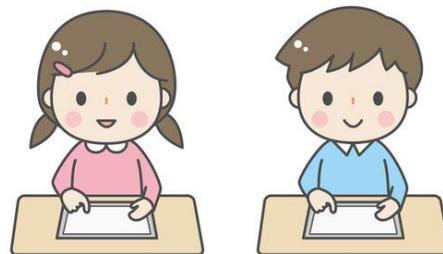


# 小・中学校におけるストレスチェックと 認知行動療法



千葉大学子どもこのころの発達教育研究センター 特任研究員  
城西国際大学看護学部 助教  
看護師・養護教諭 土屋綾子

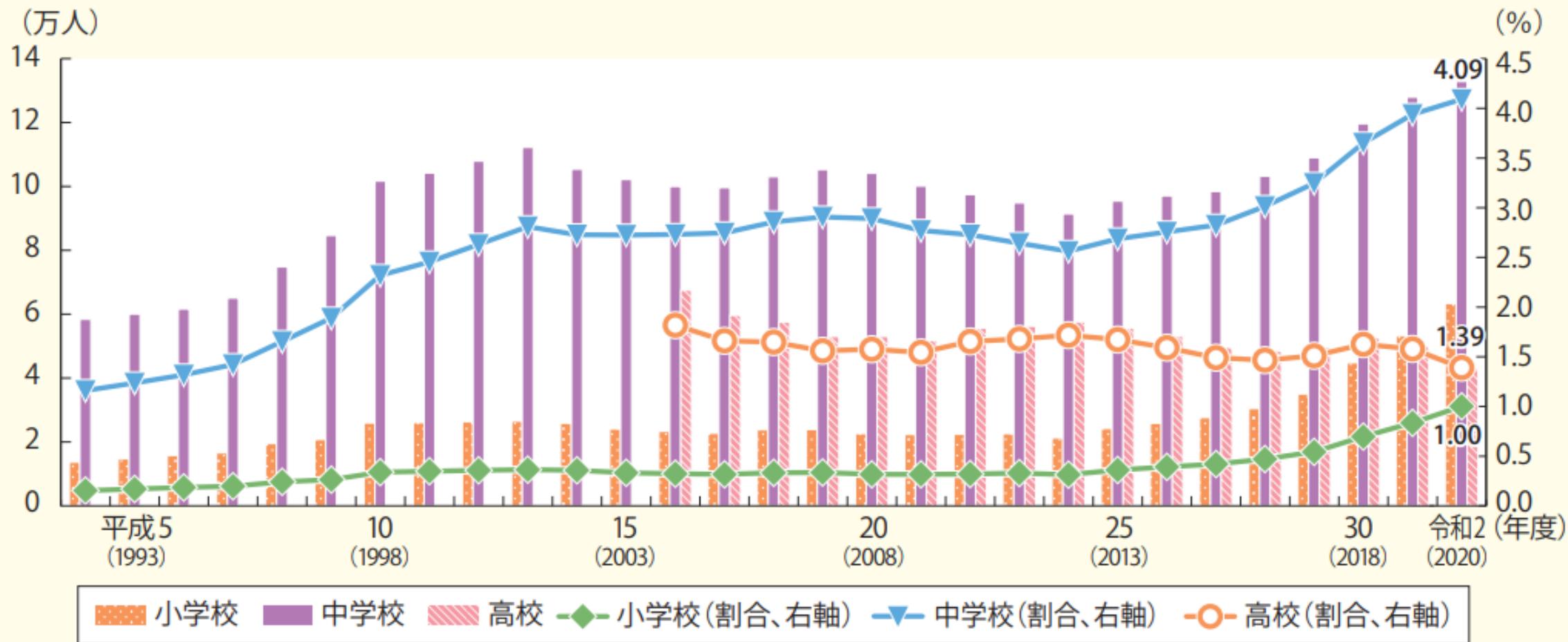
# 1 小・中学生の不登校の状況

第3-5図 不登校の状況

内閣府「令和4年版 子供・若者白書」より

◆小学生・中学生の不登校は、平成25年度から令和2年度にかけて8年続けて前年より増加した。

推移



# 2021年度生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

いじめの認知件数 97,937件 (前年度 80,877件)

2020~2021  
増加数 58,874人 **5倍**  
(前年度増加数11,265人)

長期欠席者数 232,875人 (前年度 174,001人)

- ・ 不登校 163,442人 (前年度 132,777人)
- ・ 病気 34,652人 (前年度 25,888人)
- ・ 新型コロナウイルスの感染回避 16,353人 (前年度 6,667人)
- ・ その他 18,428人 (前年度 8,669人)

増加数 30,665人 **6倍**  
(前年度増加数 4,855人)

自殺した児童生徒数 368人 (前年度 415人)



文部科学省「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」2022.10.27

2022年自殺した児童生徒数：454人

厚生労働省自殺対策推進室 警察庁生活安全局生活安全企画課 「令和4年中における自殺の状況」2023.3.14

# 2021年度 不登校の要因

	不登校児童生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐり問題	教職員との関係をめぐり問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐり問題	入学・転編入学・進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ・あそび・非行	無気力・不安		
小学校	主たるもの(人)	81,498	245	5,004	1,508	2,637	160	10	537	1,424	2,718	10,790	1,245	10,708	40,518	3,994
	主たるもの(%)	***	0.3	6.1	1.9	3.2	0.2	0.0	0.7	1.7	3.3	13.2	1.5	13.1	49.7	4.9
	主たるもの以外にも当てはまるもの (人)	***	108	3,030	1,194	5,518	319	21	629	881	1,655	10,601	1,536	7,986	8,720	***
	主たるもの以外にも当てはまるもの (%)	***	0.1	3.7	1.5	6.8	0.4	0.0	0.8	1.1	2.0	13.0	1.9	9.8	10.7	***
中学校	主たるもの(人)	163,442	271	18,737	1,467	10,122	1,414	843	1,184	6,629	3,739	8,922	2,829	18,041	81,278	7,966
	主たるもの(%)	***	0.2	11.5	0.9	6.2	0.9	0.5	0.7	4.1	2.3	5.5	1.7	11.0	49.7	4.9
	主たるもの以外にも当てはまるもの (人)	***	125	7,242	1,337	12,414	2,326	1,097	1,214	2,630	2,416	10,536	3,115	10,552	15,046	***
	主たるもの以外にも当てはまるもの (%)	***	0.1	4.4	0.8	7.6	1.4	0.7	0.7	1.6	1.5	6.4	1.9	6.5	9.2	***

# 2021年度 不登校の要因

	不登校児童生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学・転編入学・進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ・あそび・非行	無気力・不安		
小学校	主たるもの(人)	81,498	245	5,004	1,508	2,637	160	10	537	1,424	2,718	10,790	1,245	10,708	40,518	3,994
	主たるもの(%)		0.3	6.1	1.9	3.2	0.2	0.0	0.7	1.7	3.3	13.2	1.5	13.1	49.7	4.9
	主たるもの以外にも当てはまるもの(人)		108	3,030	1,194	5,518	319	21	629	881	1,655	10,601	1,536	7,986	8,720	***
	主たるもの以外にも当てはまるもの(%)		0.1	3.7	1.5	6.8	0.4	0.0	0.8	1.1	2.0	13.0	1.9	9.8	10.7	***
中学校	主たるもの(人)	163,442	271	18,737	1,467	10,122	1,414	843	1,184	6,629	3,739	8,922	2,829	18,041	81,278	7,966
	主たるもの(%)	***	0.2	11.5	0.9	6.2	0.9	0.5	0.7	4.1	2.3	5.5	1.7	11.0	49.7	4.9
	主たるもの以外にも当てはまるもの(人)	***	125	7,242	1,337	12,414	2,326	1,097	1,214	2,630	2,416	10,536	3,115	10,552	15,046	***
	主たるもの以外にも当てはまるもの(%)	***	0.1	4.4	0.8	7.6	1.4	0.7	0.7	1.6	1.5	6.4	1.9	6.5	9.2	***

中学生全体の  
不登校の割合  
5%

## 2021年度 相談・指導等を受けた生徒数とその結果

不登校生徒数 163,442人中	人数	不登校生徒に占める割合
<b>学校内の機関等で相談・指導等を受けた生徒</b> 養護教諭、スクールカウンセラー・相談員等	71,698人	43.9%
<b>学校外の機関等で相談・指導等を受けた生徒</b> 教育支援センター、教育委員会 児童相談所、福祉事務所、病院 保健所・精神保健福祉センター 民間団体・民間施設、その他	55,988人	34.3%
<b>学校内外の機関等で 相談・指導等を受けていない生徒</b>	61,997人	<b>37.9%</b>
<b>指導の結果登校する又はできるようになった生徒</b>	45,925人	<b>28.1%</b>
<b>指導中の生徒</b>	117,517人	71.9%

## 児童生徒の教育相談の充実について (28文科初第1423号)

「不登校、いじめや暴力行為等問題行動、子供の貧困、虐待等については、事案が発生してからのみではなく、**未然防止、早期発見、早期支援・対応**、さらには事案が発生した時点から事案の改善・回復、再発防止まで一貫した支援に重点を置いた体制づくりが重要である」

### 紙媒体によるアンケート調査

- × データ化する手間がかかる
- × 結果の把握に時間を有する
- × 早期対応ができない
- × 長期的なデータが蓄積されづらい
- × 紛失のリスクがある

タブレット活用

WEBストレスチェック



## 2 ストレスチェックの実施

### WEB ストレスチェックシステム

- 高ストレス状態の児童生徒 早期発見・早期対応
- データを継続的に蓄積
- 教育相談活動へ応用



児童生徒：ストレス(心理的負担)の程度を**多角的に理解する**

学校・教職員：**支援する体制づくり、教育相談活動の充実**



**対 象** 公立小学校 3 校 261人 (4年生93人、5年生75人、6年生93人)

☆同意をとる (保護者：同意書用紙に記入、児童：WEB上でチェック)

**実施時期** 第1回：2021年7月、第2回：2021年12月  
第3回：2022年7月、第4回：2022年12月

**2年間実施**

6年生→中学1年生

**ソフト** 「WEBストレスチェックシステム」

- 質問項目**
- ・ PSI(パブリックヘルスリサーチセンター版ストレスインベントリー)小学生用：30項目  
(坂野、岡安、嶋田、2007)
  - ・ 日本学校風土尺度：5問 (西村、2017)
  - ・ 教育相談の面談希望の有無 (担任、教育相談、養護教諭、教頭・校長、その他)

「『WEB上での子どものストレスチェック制度』運用に関する社会実装研究」

千葉大学大学院医学研究科倫理審査委員会承認

# 日本学校風土尺度

(西村、2017)

- Q1 この学校の先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる。
- Q2 私の担任の先生は、私に自信をもたせてくれる。
- Q3 この学校の児童生徒と先生との関係はいい。
- Q4 この学校の児童生徒は、一人一人のちがいを大事にされている。
- Q5 この学校の児童生徒は、学校の活動を友だちと一緒にすることを楽しんでいる。

## 5 択で回答

- あてはまらない
- どちらかといえばあてはまらない
- どちらでもない
- どちらかといえばあてはまる
- あてはまる

# 実施手順

- 1 教育委員会へ依頼** 依頼文書・研究計画
- 2 各学校へ依頼** 実施要項・実施手順書・保護者への通知文書・ワークシート
- 3 保護者、児童生徒の同意** 保護者：同意書（紙面） 児童生徒：WEB上でチェック
- 4 ストレスチェックの実施** タブレット・ワークシート、教員の指示のもとに行う
- 5 結果のフィードバック**  
担任・養護教諭：フィードバックの手順書、結果一覧表  
児童生徒・保護者：アドバイスシート（紙面） 学校長・教育委員会：実施報告書
- 6 面談の実施** 高ストレス者や悩みのある者、面談希望者に対して、希望した人と実施
- 7 必要に応じて、専門家や専門機関へ**

## 担任用の実施手順書

### 「ストレスチェックをやってみよう！」実施手順

#### 1 事前準備

- 保護者の同意書を確認する。
  - 保護者の同意があった児童のみ実施する。
  - 保護者の同意がなかった児童へは実施せず、タブレットで別
- ワークシートを実施する人数分、印刷をする（A4用紙、3
- 児童のタブレット、教師用タブレット、電子黒板を用意する。
  - 教師用タブレットは電子黒板で映せるようにしておく。

タブレットに読み込む方法

#### 2 ストレスチェックの実施

手順

- ワークシートを児童に配付する。
- タブレットでプリントにあるQRコードを読み取る。
  - スタート画面「ピクチャーキッズ」をダブルクリック
  - 左上の「カメラ」をクリック
  - 左下の「QRコード読取」をクリック
  - 手前のカメラに向けてプリントをかざし、QRコードを読ませる。
    - ※ カメラが手前を映す設定になっていない場合は、「カメラを切替」をクリックし、自分が映るように設定する。
  - 「[https://lms.proassist.jp...]を開きますか」に「はい」をクリックする。
- ワークシートに沿って、児童が個々に実施していく。



### ストレスチェックをやってみよう！

姓 組 番 氏名

#### 1 アクセス方法

タブレットで、右のQRコードを読み取り、「子どものストレスチェックアンケート」を開く。



#### 2 アンケートの同意について

- 「研究について」を読む。
- よければ、「 同意します」のにチェックマークを入れて、「次に進む」をクリックする。

タブレットに読み込む方法

#### 3 入力

- 「氏名、学年、組、出席番号」を入力する。
- 「性別」を選択する。 ※ メールアドレスは入力しなくてよい。
- 「次に進む」をクリックする。
- 入力した内容を確認し、「送信する」をクリックする。

#### 4 ログイン

- 「ログイン情報」の「ID」を選択、範囲指定し、右クリック、コピーする。「ログイン画面に進む」をクリックして、「ID」の空欄にコピーを貼り付ける（右クリック、貼り付け）。IDを記入しておく。

\_\_\_\_\_ I D \_\_\_\_\_
- 同じように、仮パスワードも行う。「ログイン情報」に戻り、「仮パスワード」を選択、範囲指定し、右クリック、コピーする。「ログイン画面に進む」をクリックして、「仮パスワード」の空欄にコピーを貼り付ける。
- 「ログイン」をクリックする。

#### 5 パスワード変更

- 「仮パスワード」の空欄にコピーしたものを貼り付ける（右クリック、貼り付け）。
- 新しいパスワードを作り、入力する。 ※ 8~20文字の半角英数字。英大
- 「新しいパスワード」

\_\_\_\_\_ 新しいパスワード \_\_\_\_\_
- 「変更する」をクリックし、完了。「マイページへ」をクリックする。

パスワード変更の仕方

#### 6 アンケートに回答する

- ユーザー名が自分の名前になっているかを確認し、右下の「アンケートに回答する」をクリックする。
- 「はじめに」を読む。

# 文書関係

## フィードバックの手順書

## アドバイスシート

担任または養護教諭の先生方へ

### ストレスチェックの結果のフィードバックについて

1 ストレスチェックの結果を確認する。

(1) 管理者 URL を開く。

- ① 管理者 URL をクリックする。
- ② ログイン ID とパスワードを入力する。

(2) 個々の結果の「アドバイスシート」を印刷する。

- ① 「アンケート結果一覧」をクリック
- ② 「対象学年」のみを選択し、「検索」をクリック
- ③ アンケート結果の「児童・生徒一覧／結果表示」をクリック
- ④ 対象の児童・生徒または「全選択」にチェックマークをつけて「印刷」をクリック

(3) 一覧で結果を確認する。



### 声かけの方法

2 児童、保護者へフィードバックする。

(1) 担任から児童へ「アドバイスシート」・「アドバイスシートの読み方」を手渡す。

- ① 個人情報なので、テスト結果・通知表・健康診断結果の返却方法に準じる。
- ② 高ストレスの児童には、現状がどうか確認する。→ 希望があれば面談や教育相談

### 高ストレスの児童へのフィードバック

「今回のストレスチェックの結果、あなたの現在の心身の状態はいかがですか。もし、現在の心身の状態が良くない場合は、保健相談、教育相談をお勧めします。ストレスの相談は、保護者と相談して、学校内の先生や保健室、相談機関の専門家の方に相談するのも良いと思います。」

また、すでに医療機関や相談機関で相談している場合は、そちらの専門の先生にもストレスチェックの結果を知らせると良いと思います。」

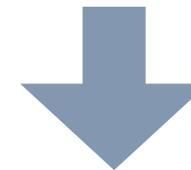
### 正常ストレスの児童へのフィードバックの文言として：

「今回のストレスチェックの結果、あなたのストレス度が普通との結果でした。現在の心身の状態はいかがですか。引き続き、自身で気づいていない心身の不調について把握するようにして、こころと体の健康づくりに気を配るようにしましょう。」

(2) 面談を希望している児童には、確認し、日程を調整する。

教員以外、専門機関にも  
相談できる

面談希望者の明確化



問題解決にむけた相談支援

# アンケート結果一覧

## 子どもストレスチェックアンケート学校管理者・千葉管理者画面



学校管理者・千葉管理者画面の  
「アンケート結果一覧」メニューをクリック

主催/実施 千葉大学 子どもこころの発達教育研究センター  
Copyright © 2023 Chiba University (RCCHD) All Rights Reserved.



### アンケート結果一覧

アンケート回答日 (任意)   以降かつ   以前

アンケートタイトル (任意)

対象学年 (任意)

アンケート回答日	アンケートタイトル	対象学年	
2023/05/17~ 2023/06/30	附属中_教育相談に関するアンケート：2023年5~6月 ストレスチェック	2	<input type="button" value="児童・生徒一覧/結果表示"/>
2023/05/17~ 2023/06/30	附属中_教育相談に関するアンケート：2023年5~6月 ストレスチェック	1	<input type="button" value="児童・生徒一覧/結果表示"/>

ログインID	性別	回答日	ストレス判定
stmM580R01641	男性	2023/06/05	正
stmM580R01665	女性	2023/06/05	正
stmM580R01626	女性	2023/06/05	正
stmM580R01676	女性	2023/06/05	正
stmM580R01527	女性	2023/06/05	正
stmM580R01538	男性	2023/06/05	A
stmM580R01654	女性	2023/06/05	A

# 文書関係

## 結果一覧表（担任、養護教諭用）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	A
1	ストレスチェック	結果一覧		学年：6		1組																1全然あてはまらない、2あまりあてはまらない、3						
2										ストレス反 応合計点の	学年全員 のストレス反 応合計点の					ソシヤル サポート	ストレッサー とソシヤルサ ポート				このごろのあなたの気もちや体のちようしにつ それぞれの一ばんよくあてはまるところを1つ							
3	番	氏名	性別	判定日	高ス トレス 判定	回答日	高ス トレス A	高ス トレス B	スト レス 反 応 合 計 点	カッ トオ フ(A)	カッ トオ フ(B)	平均点	標準偏差	平均点 +1標準 偏差	スト レ ッ サー 合 計 点	合 計 点	の低 さ合 計点	合 計 点	合 計 点の 平均点	合 計 点の 標準偏差	合 計 点の 平均点 +1標準 偏差	体がだ るい	なんと なく、 しんぱ いだ	いら い らする	体から 力がわ かない	つかれ やすい	きびし い	ふ ん て お こ り い
4																												
44	##	#N/A	###	#N/A	###	#N/A	###	###	###	###	###	#N/A	#N/A	#N/A	###	###	###	###	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
45																												
46		男性： 9		高ストレス		5		高ストレス児童														5	5	3	8	1	10	
47		女性： 8		正常		13		###	###			#N/A	#N/A		###	###						5	7	5	4	7	3	
48		未記入： 1		合計		18		3	ab						###	###						5	4	6	5	4	4	
49		合計 18						4	ac						###	###						3	2	4	1	6	1	
50				高ストレスA		5		###	###						###	###												
51				正常		13		###	###						###	###						18	18	18	18	18	18	
52				合計		18		###	###						###	###												
53								###	###						###	###						1:ぜんぜんあてはまらない						
54				高ストレスB		0		###	###						###	###						2:あまりあてはまらない						
55				正常		18		###	###						###	###						3:すこしあてはまる						
56				合計		18		###	###						###	###						4:よくあてはまる						
57								13	ak						###	###												
58								高ストレスB=準高ストレス							###	###												

高ストレス児童が  
一目でわかる

貼り付け

1組

+

検索欄

右向き矢印

# 文書関係

## 実施報告書（学校長、教育委員会用）

教育相談担当者用

児童名入りの結果

校長 ○○ 様

千葉大学医学研究院子どものこころの発達教育センター  
センター長 清水 栄司  
大学院生 土屋 綾子

令和3年度 いじめ不登校等の未然防止に向けた魅力ある学校づくりに関する調査研究  
事業（ICTを活用したWEB上でのストレスチェック）の実施報告について

平素より、本センターの研究推進に御尽力いただき、ICTを活用したWEB上でのストレスチェックの結果を  
下記のとおり、御報告いたします。御協力いただき、あ

実施人数  
高ストレス児童数

記

### 1 実施者数

4年生	29	人	／	31	人中	( 93.5% )
5年生	34	人	／	36	人中	( 94.4% )
6年生	35	人	／	42	人中	( 83.3% )

### 2 高ストレス児童数

4年1組	2	人	／	29	人中	( 6.9% )
5年1組	2	人	／	17	人中	( 11.8% )
5年2組	3	人	／	17	人中	( 17.6% )
6年1組	3	人	／	19	人中	( 15.8% )
6年2組	1	人	／	16	人中	( 6.3% )

### 3 準高ストレス・高ストレス者、ソーシャルサポートの低い児童数（人）

	準高ストレス	高ストレス者	ソーシャルサポート（低）
4年1組	0 ( 0.0% )	1 ( 3.4% )	1 ( 3.4% )

4年1組	29	4年2組	
5年1組	17	5年2組	17
6年1組	19	6年2組	16

### 高ストレス児童

K・A S・M  
O・S M・R  
Y・U S・M N・N  
J・K K・U K・I  
H・K

18点以上

### 高ストレス者

4年 T・I  
5・1  
5・2  
6・1  
6・2

9点以下

### ソーシャルサポート（低）

T・I  
O・S K・A S・F  
B・A E・S K・A T・N  
R・K

### 3 ストレスチェックの結果

#### 2021年度 第1回：7月実施

	在籍 (人)	実施者 (人)	未実施者
4年生	93	84 (90.3%)	9
5年生	75	68 (90.7%)	7
6年生	93	85 (91.4%)	8
合計	261	237 (90.8%)	24

#### 第2回：12月実施

	在籍 (人)	実施者 (人)	未実施者
4年生	93	83 (89.2%)	10
5年生	75	71 (94.7%)	4
6年生	93	84 (90.3%)	9
合計	261	238 (91.2%)	23



#### 2022年度 第1回：7月実施

	在籍 (人)	実施者 (人)	未実施者
5年生	93	87 (93.5%)	6
6年生	75	73 (97.3%)	2
中1	90	85 (94.4%)	5
合計	258	245 (95.0%)	13

高ストレス児童生徒数	2021年度 第1回	2021年度 第2回	2022年度 第1回
2022年度現在 5年生	7人 ( 8.3%)	10人 ( 12.0%)	9人 ( 10.3%)
2022年度現在 6年生	11人 ( 16.2%)	15人 ( 21.1%)	17人 ( 23.3%)
2022年度現在 中学1年生	13人 ( 15.3%)	10人 ( 11.9%)	16人 ( 18.8%)
合計	31人 ( 13.1%)	35人 ( 14.7%)	42人 ( 17.1%)

# 2021年 第1回

高ストレス群 31人



# 2021年 第2回

高ストレス群 35人

## 第1回のみ

14人

4年 3人  
5年 4人  
6年 7人

男性 5人  
女性 9人

## 両方とも

17人

4年 4人  
5年 7人  
6年 6人

男性 10人  
女性 7人

## 第2回のみ

18人

4年 6人  
5年 8人  
6年 4人

男性 8人  
女性 10人

2021年 第1回

高ストレス群 31人



2021年 第2回

高ストレス群 35人

第1回のみ  
14人

両方とも  
17人

第2回のみ  
18人

2022年 第1回

高ストレス群 42人

2022年 第1回のみ 13人

2022年 第1回で2回目 18人

2022年 第1回で3回目 11人

# 高ストレス児童 と 日本学校風土尺度 の 一例

学年	4	6	6	6	6	6	6
性別	男	男	男	女	男	男	女
ストレス反応合計点	31	36	25	27	30	27	24
ストレッサー合計点	8	22	6	12	8	18	17
ソーシャルサポートの低さ合計点	21	27	14	14	16	5	9
ストレッサーとソーシャルサポートの低さ合計点	29	49	20	26	24	23	26
先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる		×	△	△	△		○
担任の先生は、私に自信をもたせてくれる		×	×	△		○	△
この学校の児童生徒と先生との関係はいい	○	○	△	○		○	○
この学校の児童生徒は、一人一人のちがいを大事にされている	○	×				◎	
この学校の児童生徒は、学校の活動を友達と一緒にすることを楽しんでいる	○		○	○	△	◎	○
面談を希望しますか (希望する○、しない×)	×	○	×	×	×	○	○

## 日本学校風土尺度

× : あてはまらない

△ : どちらかといえば  
あてはまらない

空欄 : どちらでもない

○ : どちらかといえば  
あてはまる

◎ : あてはまる

# 高ストレス児童 と 日本学校風土尺度 の一例



学年	4	6	6	6	6	6	6
性別	男	男	男	女	男	男	女
ストレス反応合計点	31	36	25	27	30	27	24
ストレッサー合計点	8	22	6	12	8	18	17
ソーシャルサポートの低さ合計点	21	27	14	14	16	5	9
ストレッサーとソーシャルサポートの低さ合計点	29	49	20	26	24	23	26
先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる		×	△	△	△		○
担任の先生は、私に自信をもたせてくれる		×	×	△		○	△
この学校の児童生徒と先生との関係はいい	○	○	△	○		○	○
この学校の児童生徒は、一人一人のちがいを大事にされている	○	×				◎	
この学校の児童生徒は、学校の活動を友だちと一緒にすることを楽しんでいる	○		○	○	△	◎	○
面談を希望しますか (希望する○、しない×)	×	○	×	×	×	○	○

## 日本学校風土尺度

× : あてはまらない

△ : どちらかといえば  
あてはまらない

空欄 : どちらでもない

○ : どちらかといえば  
あてはまる

◎ : あてはまる

## 4 まとめ

- 授業時間（学活、総合、ICT教育）に実施したため、実施率が高かった
- 児童生徒は真剣に取り組んでいた
- 児童へ説明するのに、手順書・ワークシート，電子黒板と実物投影機が有効
- × タブレットの操作とシステムのパスワード変更が難しい
  - 第4学年
    - ・アルファベットの大文字と小文字の判別できない
    - ・入力の仕方に戸惑う

### 説明と実施にかかった時間

4年生：45～60分

5年生：45分程度

6年生：30～45分

- 結果はすぐにデータ化され、一覧表で確認できた
- 高ストレス児の早期発見、面談などへの早期対応に繋がった

## 5 今後の課題

○教育相談活動への活用状況

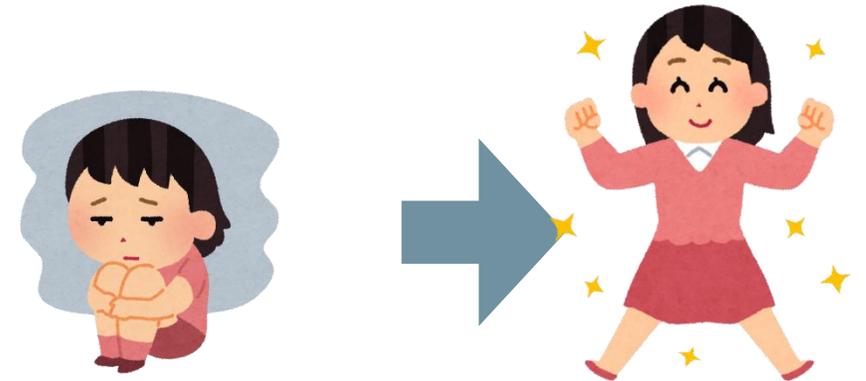
○その後の児童生徒の様子を確認

○児童生徒の支援 → スクールカウンセラーの活用

○学校、教職員・生徒への支援

○地域連携へのアドバイス

○WEBストレスチェックの普及



ご清聴ありがとうございました。

